

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は 2022 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会要項並びに競技注意事項によって行う。
- (2) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。但し、投てき用具、棒高跳用ポールについては各自持参のものを、検定を受け使用することができる。(検定はダッグアウト中央陸協事務室前で行う。)
- (3) アスリートビブスは胸部と背部につけること。但し、跳躍競技の競技者は背または胸だけでよい。
- (4) すべてのトラック種目は予選から写真判定を行う。腰ナンバー標識の 1~8 番までは、中高校生は各学校で準備する。その他の競技者には主催者から配付する。1500m, 3000m 競技は、招集場所で配付する腰ナンバー標識を使用する。5000m 競技は招集場所で主催者が配付する通しアスリートビブスと腰ナンバー標識を使用する。
但し、リレー競技においては第 4 走者のみでよい。腰ナンバー標識は右腰やや後方につける。
- (5) 高校・一般男子 5000m, 高校・一般女子 3000m, 中学男子 3000m は、グループスタートで行う。
- (6) トラック競技予選及び 800m, 1500m, 3000m, 5000m 決勝はタイムレースで行う。
予選で同記録者が 8 名を超えた場合には、1000 分 1 秒で記録された実時間を考慮し判定して進出者を決める。それでも決められない時は抽選を行う。
- (7) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに総務に 1 部提出する。ユニフォームは、同一のものを着用する。
尚、オーダー用紙には、リレー種目以外からの競技者については出場種目を記入する。
リレー競技のマーカーの使用は 1 か所とする。また、マーカーは各チームで用意し、使用後はそのチームで処理する。
- (8) 投てき競技と走幅跳については、トップ 8 を決めてさらに 3 回の試技を行う。
- (9) 棒高跳の支柱移動申請用紙はピットに用意する。記入後はピットの担当者に提出すること。
- (10) 抗議は競技規則 TR8 に従って定められた時間内に、各チームの代表者が口頭で審判長に申し出る。
さらに、この裁定に不服の場合は、預託金(1 万円)を添えて、総務に文書で申し出る。
尚、ジュリーの裁定が最終決定となる。

2 招集について

- (1) 招集は、各スタート付近又は各ピットで行う。
- (2) 競技者は招集開始に遅れることのないように注意し、招集場所で競技者係から点呼を受けること。(招集開始、完了時刻はプログラムに記載の通りである) その際、係員によるアスリートビブス、スパイク及びシャツ、バッグ等の商標のチェックも受けること。なお、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は競技場内へは持ち込めない。
- (3) 招集は本人が行う。但し、他の種目に出場している場合のみ代理を認める。
- (4) 他種目と兼ねて同時に競技する者は、競技者係及びその種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにする。

3 練習場所について

- (1) 練習はサブグラウンド及び雨覆練習場を使用する。ただし、新型コロナウイルス感染対策で雨覆練習場を使用しない場合もある。
- (2) 投てき競技の練習は競技場内で審判員の指示により行い、サブグラウンドでの投てき練習は禁止する。
- (3) 事故防止には十分留意すること。

4 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。尚、当日の状況により変更もありうる。

走高跳	中学	男子	1m35 (練習) 1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m65 (以後 3cm 上げ)
		女子	1m15 (練習) 1m20-1m25-1m30-1m35-1m40 (以後 3cm 上げ)
高校・一般	男子	1m60 (練習) 1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90 (以後 3cm 上げ)	
		女子	1m30 (練習) 1m35-1m40-1m45-1m50 (以後 3cm 上げ)
棒高跳	中学	男子	2m00 (練習) 2m10-2m20-2m30-2m40-2m50-2m60 (以後 5cm 上げ)
		女子	1m80 (練習) 1m90-2m00-2m10-2m20-2m30-2m40 (以後 5cm 上げ)
高校・一般	男子	3m00 3m60 4m20 (練習) 3m30-3m40-3m50-3m60 (以後 5cm 上げ)	
		女子	2m30 (練習) 2m40-2m50-2m60-2m70-2m80-2m90 (以後 5cm 上げ)

- (1) 走高跳、棒高跳で最後の一人になり優勝者が決まるまで上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

5 計測記録について

- (1) 走幅跳には計測ラインを設ける。

中学男子	4 m 3 0	中学女子	3 m 3 0
高校・一般男子	5 m 5 0	高校・一般女子	4 m 3 0

- (2) 投てき競技はペグ方式で計測する。

6 表彰について

- (1) 各種別各種目の男女の部でそれぞれ3位までに入賞した競技者に賞状を授与する。但し、中学の部は、男女の部でそれぞれ8位までに入賞した競技者に賞状を授与する。
種別は中学の部と高校・一般の部とし、砲丸投及び円盤投の男子のみ高校の部と一般の部とに分ける。
- (2) 各種目の3位までの入賞者は、結果発表後ただちに入賞者席に移動して表彰を受けること。
- (3) 希望者には申し出があれば記録証を発行する。(1部200円)

7 競技者の移動、応援ならびにテントの設営について

- (ア) 役員・係以外の本部席前の通行を禁止する。
- (イ) 競技場内への移動は係の指示に従うこと。その場合、フィニッシュライン地点と100mスタート地点のゲートを使用し、他の出入口は一切使用しない。
- (ウ) その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。
- (エ) 声を出しての応援は禁止する。また、競技運営に支障のあるような応援はしないこと。
- (オ) テントの設営は、正面スタンド(高校・大学・一般)は中段より上とする。中学校のテント設営はサイドスタンドとバックスタンドとする。
- (カ) 前日の場所取りはできない。当日は6時15分に中央入口で各チーム代表者(場所取り)に開放し、その後の入場者は100mスタート脇、フィニッシュ脇の2カ所からの入場とする。

8 救護について

競技中に発生した傷害事故等に対しては、主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任は一切負わない。尚、大会当日の傷害については、主催者側が加入する「傷害保険」が適用される。

9 その他

- (1) ごみは各自での持ち帰りをお願いします。
- (2) 特に最近盗難事故が多発しています。貴重品の管理は、各自で責任を持って行ってください。